

三豊市

津波ハザードマップ

すぐに持ち出せる場所に保管してください。



お問合せ先

三豊市総務部総務課

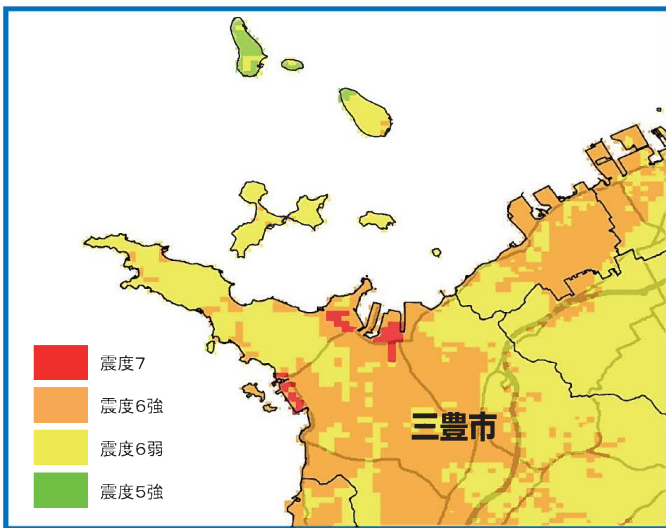
TEL : 0875-73-3000

Email : soumu@city.mitoyo.kagawa.jp

「三豊市津波ハザードマップ」は、平成25年3月に香川県が公表した「南海トラフの最大クラスの地震により発生する津波浸水想定図」を基にし、地域ごとに異なる浸水深と「一時避難場所」や「避難方向」などの情報を加えたマップです。

「南海トラフの最大クラスの地震」では、耐震性の低い建物の想定される倒壊率は高く、新しい建物でも家具や備品の固定を怠ると家人に致命的な被害が発生する可能性があります。

各家庭で避難先や避難経路を記入し、地震や津波からの避難に備えるとともに、建物の補強や家具等の固定にも配慮してください。



震度階級	震度と揺れ等の状況（概要）
7	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性の低い木造建物は、傾くもの、倒れるものがさらに多くなる。 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。
6強	<ul style="list-style-type: none"> はわないと動くことができない、飛ばされることもある。 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
6弱	<ul style="list-style-type: none"> 立っていることが困難になる。 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
5強	<ul style="list-style-type: none"> 物につかまらなると歩くことが難しい。 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。 固定していない家具が倒れることがある。 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

出典：香川県地震・津波被害想定第一次公表報告書 平成25年3月31日 香川県危機管理総局危機管理課



 三豊市

地震発生時の避難行動

ゆれた！地震発生 地震発生から避難・避難後までの行動マニュアル

南海地震では
約100秒～180秒つづきます

① まず、身を守る



クッションや座布団などで頭を保護。丈夫な机やテーブル下などに隠れる場合はテーブルの足をしっかり持つこと。

② 非常脱出口の確保

玄関、窓を開けて逃げ口を確保。



揺れがおさまったらすぐ避難

① 靴または底の厚いスリッパを履く



靴または底の厚いスリッパを履き、ガラスの破片や散乱物から足を守る。

② 家族の安全確認

倒れた家具の下敷きになっていないか確認。

③ 火元の確認

ガスの元栓を締め、ブレーカーを落とす。もし火が出ていたら、あわてずに初期消火を。



揺れがおさまったら
家族の安全確認

① 隣近所への声かけ



けが人、行方不明者がいないかを確認する。

② 火災時には協力して初期消火



津波による浸水の恐れのない地域では、大声で知らせ、消火器、バケツリレーなど近隣で協力して初期消火を。

余震に注意しつつ
隣近所の安全確認

① 正しい情報を聞く



ラジオ等で正確な情報を収集。市役所、消防、警察、自主防災組織などの情報を確認。

② 電話は緊急連絡を優先



安易に電話をかけることは避け、安否の確認は「災害用伝言ダイヤル」等を活用する。

デマにまどわされず、
正確な情報を収集

① 地域ぐるみで協力して 応急救護の体制を

② 倒壊した家やその危険性 のある家には入らない

③ 水・食料の確保



いざというときのために、日頃から最低でも1週間分の飲料水と食料の備蓄を。

④ 災害情報、被害情報の 収集



避難後は助け合いの
心で行動を

津波に関する警報・注意報、浸水予測

津波に関する警報・注意報

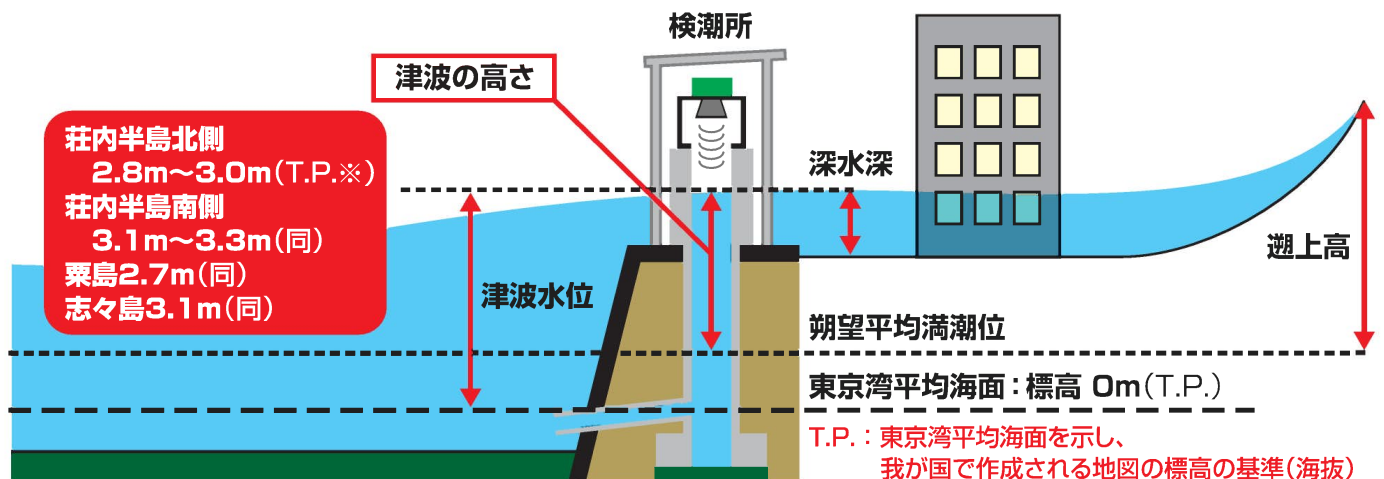
地震発生後、津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より大津波警報、津波警報、津波注意報が発表されます。大津波警報、津波警報、津波注意報の時は、すぐに次のような行動をとりましょう。

津波警報等の種類	発表される津波の高さ		津波警報等を見聞きした場合にとるべき行動
	数値での発表	巨大地震の場合の表現	
大津波警報 (特別警報※)	10m超(10m<高さ)	巨大	陸域に津波が浸水する恐れがあるため、沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所に避難する。 警報が解除されるまで安全な場所から離れない。
	10m(5m<高さ≤10m)		
	5m(3m<高さ≤5m)		
津波警報	3m(1m<高さ≤3m)	高い	
津波注意報	1m(20cm≤高さ≤1m)	—	陸域では避難の必要はない。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れる。海水浴や磯釣りは危険なので行わない。 注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしない。

※特別警報は、これまでにない危険が迫っていることをお知らせするものです。

津波浸水予測

三豊市に襲来する「津波水位」の最高は3.3メートル(標高・海拔)、**遡上高さを考慮して避難する場合、標高10メートル(標高・海拔)以上**の場所が望ましいと考えます。各地域の浸水深は、標高と地形によって異なりますので、本マップでよく確認しておいてください。



津波避難の基本方針

地震発生後、約3時間半から4時間で、2.0m以上(標高・海拔)の津波水位に達すると想定されます。あわてず落ち着いて避難しましょう。津波注意報の解除など安全が確認できるまで避難場所等に溜まりましょう。

津波避難8カ条

1 地震の揺れを感じたら津波に注意!

地震の揺れを感じたら、まず身体の安全を確保しましょう。安全が確保されたら津波に関する情報を確認しましょう。

津波注意!



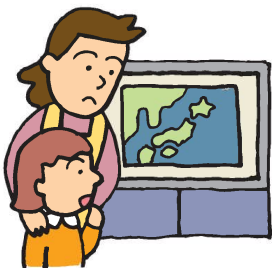
5 海岸や川には近づかない!

海岸に近づかないことはもちろん、津波は市街地よりも川を早くさかのぼりますので、できるだけ川に近づかず避難しましょう。



2 テレビ・ラジオ、市の広報で正しい情報を!

テレビ・ラジオ、携帯電話などを活用して、正確な情報を入手しましょう。



正しい情報の入手が大切

3 避難情報が出たらすぐに避難!

防災行政無線、携帯メール、テレビ、ラジオ等で避難情報が出たら率先して避難しましょう。たとえ避難情報が出る前でも早めに自主避難を心がけてください。

4 避難は徒歩で!

車での避難は、渋滞・混乱を引き起こすので、徒歩で避難しましょう。



6 地域での協力が大切です!

避難の時にはご近所にも声をかけ合い、みんなでケガや病気の方などの手助けを行い、地域で協力し合う避難を心がけましょう。

7 お年寄りやお体の不自由な方などの避難に協力を!

避難する時に、お年寄りやお体の不自由な方を見かけたら、地域で協力しましょう。また長い距離を歩くのが難しい場合も地域で協力し避難しましょう。



8 水が引いても安全が確認できるまで戻らない!

津波注意報の解除など安全確認ができるまで避難所等に溜まりましょう。



津波からの避難について話し合しましょう

安全・迅速な避難のためには、家族が共通の考えで速やかに行動できるかが重要です。このマップを活用して、家族で津波からの避難について話し合しましょう。

津波想定区域か確認する

自宅等の位置は？

- 津波想定浸水区域内
 津波想定浸水区域外

避難目標及び避難経路は？

家族の集合場所や連絡方法は？

避難経路で注意する箇所は？

避難目標までかかった時間は？

安全・迅速な避難について考える

対策を行ったら□のチェックボックスに
 チェックをしましょう。

1 住宅の耐震化

安全・迅速な避難の第一歩は、自分の家の耐震性を知ることです。市の耐震診断や耐震改修の補助等を活用し、地震に強い家にしましょう。

●お問合せ先／建設経済部建築課 TEL0875-73-3044 FAX0875-73-3047

- 耐震性の確認(耐震診断) 耐震改修

2 家具の固定と配置

家具やテレビなどを固定し、揺れによる転倒や落下を防止しましょう。また、扉をふさがないように部屋の入口付近の家具の配置にも注意しましょう。

- 家具の固定 家具の配置

3 非常持出品の準備

避難の際に持ち出す必要最低限の備えを日頃から家族で確認し、準備しておきましょう。

- 非常持出品の準備

4 避難目標及び避難経路を確認しましょう

家族で話し合った避難経路や避難目標を、実際歩いて確認しておきましょう。また、避難経路は火災や倒壊により通れなくなる可能性もあるので、経路などは複数確認しておきましょう。

- 避難目標を確認 避難経路を確認

5 避難情報や家族の連絡方法を確認しましょう

地震が発生したとき、家族が一緒にいるとは限りません。各自で避難の情報をどのように入手するか、家族の安否確認や連絡方法なども確認しておきましょう。

- 情報の入手方法を確認 連絡方法を確認

指定避難所一覧（地震・津波災害時における各施設の状況）

番号	施設名	電話番号	地震・津波災害時避難	注意事項
27	大見小学校	72-5402	○	
28	三野町公民館大見分館	73-5773	×	施設の耐震性に問題有り
29	三野町はつらつセンター	73-3211	○	
30	下高瀬小学校	72-5401	△	浸水状況に応じて避難が必要 ※2階以上への避難
31	三野津中学校	72-5209	×	津波浸水区域内
32	三野町ふれあいセンター	73-4648	×	施設の耐震性に問題有り
33	三野町社会福祉センター	72-2800	△	浸水状況に応じて避難が必要
34	三野町体育センター	72-1509	△	浸水状況に応じて避難が必要
35	吉津小学校	72-5676	○	
36	三野町保健センター	72-5000	×	津波浸水区域内
37	三野町公民館吉津分館	72-4774	△	浸水状況に応じて避難が必要
46	松崎小学校	83-2856	○	
47	詫間小学校	83-2858	×	津波浸水区域内
48	詫間中学校	83-2108	×	津波浸水区域内
49	香川高等専門学校詫間キャンパス	83-3141	○	
50	荘内自然休養村センター	84-6115	○	
51	デイサービスセンター美崎	57-2011	○	
52	箱浦小学校	84-7356	○	
53	粟島小学校	—	×	施設の耐震性に問題有り ※運動場へ避難
54	粟島開発総合センター	84-7001	×	津波浸水区域内
55	志々島老人いこいの家	83-5650	×	津波浸水区域内
56	曾保小学校	82-2135	○	
57	八幡神社（仁尾町）	—	△	浸水状況に応じて避難が必要
58	仁尾小学校	82-2049	○	
59	常德寺（仁尾町）	82-2294	△	浸水状況に応じて避難が必要
60	仁尾町文化会館	56-9565	△	浸水状況に応じて避難が必要 ※2階への避難
61	仁尾中学校	82-2119	△	浸水状況に応じて避難が必要 ※2階以上への避難
62	仁尾町体育センター	—	△	浸水状況に応じて避難が必要
63	仁尾町老人福祉センター	82-2042	△	浸水状況に応じて避難が必要 ※2階への避難
64	家の浦円明院	82-2469	△	急傾斜地崩壊の危険性有り

災害時の緊急連絡について

地震など大災害発生時は、安否確認、見舞い、問い合わせなどの電話が爆発的に増加し、電話がつながり難い状況が続きます。緊急時には災害用の伝言サービスを利用しましょう。

※各伝言サービスは、一定規模以上の災害時に提供されます。



固定電話、携帯電話などから

災害用伝言ダイヤル

安否の確認のための伝言を録音したり、伝言を聞くことができます。

伝言を

残す 局番なし **171** → **ダイヤル 1** → 市外局番から **自宅電話番号**

伝言を

聞く 局番なし **171** → **ダイヤル 2** → 市外局番から **自宅電話番号**

NTT 西日本ホームページ <http://www.ntt-west.co.jp>

※くわしい利用方法は「ハローページ」の「災害伝言ダイヤル」のページ、またはインターネットで確認してください。

<利用できる電話>

●NTT加入電話 ●INSネット(※) ●公衆電話 ●ひかり電話(※) ●災害時にNTTが避難所などに設置する特設公衆電話 ●携帯電話、PHS(詳しくはご契約の通信業者へ確認してください)

※ダイヤル式電話の場合、利用できません。



インターネットから

災害用伝言板 (Web171)

インターネットを利用して安否の確認の伝言を登録・確認することができます。

<http://www.web171.jp/>
へアクセス

→ 伝言を登録・確認したい
電話番号を入力 → 「伝言を登録する」
「伝言を確認する」をクリック

※くわしい利用方法は HYPERLINK "<http://www.ntt-west.co.jp/dengon/web171/>"
<http://www.ntt-west.co.jp/dengon/web171/> を確認してください。



携帯電話 スマートフォンから

災害用伝言板

携帯電話・スマートフォンを利用して安否確認用メッセージの登録や確認をすることができます。

docomo <http://dengon.docomo.ne.jp>

●携帯電話 **iMenu** → 災害用安否確認 → 安否の登録または安否の確認

●スマートフォン **dメニュー/ドコモサイト** → 災害用伝言板 → 安否の登録または安否の確認

※スマートフォンからの安否情報の登録には、「spモード」契約が必要です。また無線LANアクセスでは登録できません。
※BlackBerry®をご利用の方はホームスクリーンから「メニューキー」→「ダウンロード」→「docomo service portal」→「災害用伝言板」を選択してください。

au by KDDI <http://dengon.ezweb.ne.jp>

●携帯電話 **EZwebトップメニュー** → 災害用伝言板 → 登録または確認

●スマートフォン **auポータル** → 災害用伝言板 → 登録または確認

※トップページを au ポータル以外に変更されている方は <http://dengon.ezweb.ne.jp> にアクセスをお願いします。

SoftBank <http://dengon.softbank.ne.jp>

●携帯電話 **Yahoo!ケータイ** → 災害用伝言板 → 登録または確認

●スマートフォン **My SoftBank** → 災害用伝言板 → 登録または確認

※SoftBank スマートフォンは、上記「My SoftBank」から、または災害用伝言板アプリケーションからもご利用いただけます。
※iPhone は、災害用伝言板アプリケーションからご利用いただけます。

WILLCOM

HYOERLINK <http://dengon.clubh.ne.jp>

H"LINK トップ → 災害用伝言板 → 登録または確認

※「DIGNO DUAL」「HONEY BEE(WX06K)」をご利用の場合は「災害伝言板」アプリまたは「ウィルコムポータルサイト」からアクセスしてください。

非常時持ち出し品・備蓄品

非常持出品

すぐに持ち出せるように、リュックなどにまとめておきましょう！

常備薬・救急セット



包帯、ガーゼ、バンソウコウ、傷薬、消毒薬、胃腸薬、はさみなど軽いケガや病気に応急処置ができるもの。

非常用食料



米(アルファ米など)、乾パン、インスタントラーメン、クラッカー、缶詰、飲料水など。

応急生活用品



携帯電話、笛、ビニール袋、貴重品(現金など)、タオル、ちり紙、洗面用具、下着、上着類、軍手、雨具、ナイフ、ロープ、ラジオ、懐中電灯、防寒着なども準備。

備蓄品

災害復旧までの数日間(1週間程度)準備するもの

備蓄用食品・飲料水



備蓄の量としては、1週間程度の水や食料が目安です。

カセットコンロ



お湯を沸かす道具として、燃料も忘れずに。

その他生活用品



洗面用具、ろうそく、新聞、なべ、バケツ、毛布など。

高齢者や体の不自由な方、赤ちゃんがいる家庭



介護用品、紙おむつやティッシュペーパーなど、ミネラルウォーターを忘れずにご用意ください。お子さんの状況によっては離乳食も準備。常備薬、バンソウコウ、胃腸薬など。

- 常備薬・救急セット
- 非常用食料
- 応急生活用品
- 備蓄用食品・飲料水
- カセットコンロ
- その他生活用品
- 介護用品やオムツなど

出来たものを
チェック
しましょう！

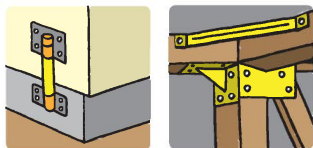


非常持ち出し品の置き場所を決めて、みんなで確認しましょう。

わが家の耐震対策

耐震改修及び室内の安全対策を行いましょ

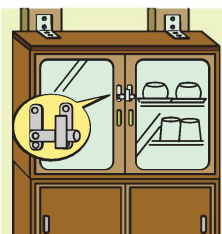
耐震診断を行い、安全でないと言われた場合は、適切な耐震改修を行うことで安全性を確保することが出来ます。



建物の耐震補強、屋根の軽量化、ブロック塀等の補強など、専門家に相談しましょう。



- 重いものは置かないようにしましょう。
- 転倒・飛び出し防止金具を取付けましょう。
- 飛散防止フィルムを貼りましょう。



わが家の防災メモ

突然やってくる災害、あわてないためにすぐに記入しよう!

住所			
氏名		電話	

「家族」データ	氏名	電話(勤務先・学校)	生年月日	血液型	アレルギー	常備薬

避難場所	
家族が離ればなれになったときの集合場所	

「緊急」連絡先	連絡先	電話番号	連絡先	電話番号

「親戚・知人」連絡先	氏名	電話(連絡先)	住所	メモ(家族との関係等)